

桃源通信

「総合的な学習の時間」 の受け入れ



～ 造道小学校 4年生が来所しました ～

5月17日(火)、6月28日(火) 85名の児童が、2回にわたって、高齢者の気持ちや介護の仕事などを勉強するために来所しました。

初回は、福祉車両のリフトや、嚥下しやすい食事の形態、リハビリなどを体験しました。子供たちは、驚きと楽しみを感じながら勉強することができたようです。



2回目の6月28日(火)には、ご利用者へプレゼントが渡されました。

プレゼントは、手作りカレンダー、児童が育てたヒマワリの苗、小学校周辺の段差や交通量等の危険箇所を示した思いやりマップ、ダンスも披露してくれました。

ご利用者は、子供たちの想いに感動され、涙を流しながら喜ばれていました。



総合的な学習の時間とは？

総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとすることから、思考力・判断力・表現力等が求められる「知識基盤社会」の時代においてますます重要な役割を果たすものである。

～文部科学省ホームページより～

桃源の日常から...

桃源では、できるだけ残存能力を生かせる環境を提供しようと努めております。

あるご利用者は、得意なピアノで童謡などを弾いて下さいます。聞き覚えのある演奏が始まると、コーラスをやっていた方が歌い始めることも。

誕生日を迎えられた方のために、生演奏に合わせて、ご利用されている皆さんから、合唱がプレゼントされることもあります。



手芸教室の取り組み

～ 毛糸・折り紙のボランティア ～

ご利用者のご家族の協力を得て、手芸教室を開催しました。日ごろから、桃源でも手芸の時間をもうけてはおりますが、本格的な作品を作ろうとすると職員では難しいのが現実です。

手芸が得意な方に丁寧に教えていただくことで、難しい作業が続く作品も、少しずつ形になっていきます。ご利用者からは、完成が近づくと、うれしそうな笑顔が見られます。

参加された方たちは、完成した個性豊かな作品を前に「次は、これも作ってみようかな」「あれも、すごくかわいいね」などと、感想をおっしゃっていました。



青森県立保健大学 ～ ボランティア ～

6月17日(金) ソーシャルワーク研究会に所属する7名の学生が来所してくれました。

ご利用者は、孫のような世代の学生と一緒に、頭や身体を使った「色当てゲーム」や「スリッパ飛ばし」などを楽しみました。福祉の勉強をしている学生だけあって、ご利用者と打ち解ける時間も早く、お互いにいい刺激になったようです。

次回は8月12日(金)に新しいゲームを携えて、来所してくれる予定です。



七夕で健康祈願

7月5日(火) 毎年恒例となった七夕の飾り付けを行いました。

折り紙で飾りを作り、短冊には願いごとを書きました。ご利用者の願い事で一番多かったのは、健康祈願でした。中には「かなわないと知りつつ願い事を書く。できることなら100万円くれ」という方も。作業を終えたご利用者は、お互いの願い事を見ながら、楽しんでいらっしゃいました。

季節の便り ～ ミズ&イナダ編 ～

桃源の管理者は、時々、季節を感じられる新鮮な食材を差し入れします。今回は、ミズとイナダです。

ミズは、ご利用者が「昔はよく取りにいったな～」などの会話をしながら皮をむいてくださいました。

一方、朝から厨房ではイナダをさばくために大忙し。お昼には、釣られて間もないお刺身が、バイキングに並びました。いずれも、完食されました。

発行：通所介護事業所 桃源
住所：〒030-0911 青森市造道3丁目14-18
電話：017-752-1950

道の駅いなかだて「弥生の里」



6月23日(木) 田舎館村まで、ドライブに行ってきました。高速道路を利用して30分ほどで到着。

まずは、展望台に登って「ストーンアート」を見物しました。「いやー、どうやって作ってらんだべ?」「高倉健だねえ。石原裕次郎も作ってるねえ。いつ頃、できるんだべ?」と往年のスターに感動されていました。

芸術鑑賞のあとは、お楽しみの買い物です。皆さんは、カゴいっぱい食材やお土産を選んでいらっしゃいました。

今年の田んぼアート「シン・ゴジラ」は、うっすらと形がわかる程度まで作業が進められていました。皆さんは「完成した頃に、また、来たいね」とおっしゃっていました。



今年も海の幸や山の幸を、たくさんいただいております。



(ミズ) (いちご) (タラの芽とシイタケの天ぷら) (わらび) (うど)

桃花では、いろいろな初物を食べることができます。近所の方や職員が、自分たちの畑などで収穫した食材を差し入れてくれるからです。ご利用者は、慣れた手つきで、それらの下ごしらえをさせていただきます。作業はあっという間に終わり、お昼やおやつの時間に提供されます。

スーパーでは、年中さまざまな食材を買うことはできます。しかし『採れたて・地物』の食材は、季節感と満足感をより感じさせてくれます。

こうした差し入れも、皆さんに充分楽しんでいただけるように提供できるのは、定員10名と少ない事業所ならではのサービスです。

ハーブと野菜を取りに行ってきました。

7月15日(金) 天気が良かったので、職員が作っている菜園へ、出かけてきました。

そこは、桃花から車で10分ほど行った場所にあります。山の斜面を削って作られている畑には、無農薬で野菜やハーブが栽培されていました。

参加された皆さんは、食べごろの野菜やハーブなどを楽しそうに収穫されました。

普段、運動することを億劫に思っているご利用者も、花などを眺めながらだと、広い敷地内を思い思いに歩こうとされます。

摘んできたハーブは、ウォッカに漬けて消臭剤として使ったり、香辛料、石けんの材料などにも使います。今年は、玉ねぎやキュウリなどの野菜が良く育っていました。



笹餅を作りました。



6月17日(金) 近所の山から、採ってきた笹を使って、笹餅作りに挑戦しました。

職員は作ったことがないため、ご利用者から作り方の手ほどきを受けます。

ちょうど良い材料の配合で、甘すぎず、飲み込みやすい餅にできあがりしました。

蓮の花見物

7月21,28日(木) 昼食後、猿賀神社に参拝しました。

たくさん大きな“つぼみ”がありましたが、ほとんど咲いていませんでした。あるご利用者が「蓮の花は、朝開くんだよ。もっと、早く来ないと」と教えてくださいました。

帰りの車中では、「来年も、みんな元気に来ようね」「次は、午前中でねえば、まいねな」などと言いながら、おみやげのお菓子を食べてながら、反省会が行われました。

